

21 『郷土の歴史や文化を巡る（羅臼町）』ルート

1. 羅臼町内（道の駅『知床・らうす』）

3.5km 4分

2. 羅臼ビジターセンター

0.5km 1分

3. 熊の湯・熊越の滝

4.5km 5分

4. しおかぜ公園 12

1.2km 2分

5. 純の番屋

20.5km 29分

6. 羅臼町郷土資料館

21.0km 30分

7. 羅臼町内（道の駅『知床・らうす』）

羅臼 羅臼

羅臼と言えば映画「地の涯(はて)に生きるもの」や「アフリカの光」、ドラマ「北の国から2002遺言」などのロケ地で、幅広い年代に知られています。自然だけでない羅臼の顔も見てみよう。

しおかぜ公園

国後島を一望できる高台にある公園。戸川幸夫の小説「オホーツク老人」の碑がある。これを原作とした映画「地の涯に生きるもの」の撮影から、森繁久弥の「知床旅情」が生まれた。「オホーツク老人」の物語は、羅臼小学校前の壁画にも描かれているよ。

羅臼町共栄町100-83



(しおかぜ公園)

純の番屋

ドラマ「北の国から2002遺言」の舞台となった純の番屋を地元の有志が手作りで再現したもの。現在は食堂にもなっており、地元羅臼産の海鮮を使った定食などが食べられます。

羅臼町礼文町



(純の番屋)

羅臼町郷土資料館

羅臼町は太古から北方民族が行き来した地で、多くの遺跡があり、出土品の多くはこの資料館で見ることができます。旧石器時代から近世までの北海道の歴史を概観できる考古学ファンには必見の資料館です！館内は9つの展示室に分かれており、土器や石器の他にも、漁業や生活の歴史を知ることができる用具や知床に生息する野生動物や海洋生物の剥製・模型も展示されているよ。

羅臼町峯浜町307番地1

TEL(0153)88-3850

開館10:00～17:00

(休日：土・日・祝日・年末年始)



(羅臼町郷土資料館)



熊の湯

原生林に囲まれた天然露天風呂だけに、森林浴として人気集中。さらに、お風呂から眺める羅臼の景観はお見事。だから旅人にとって穴場のひとつなのだ。ここの露天風呂は脱衣場と湯船が男女別になっているので、気がねなく入浴することができる。ゆっくり温まってネ。

* 熊越の滝¹²が近いので、時間があったらこちらも是非歩いてみてね！

* ココに限らず、露天風呂は、温泉を愛する有志の人達がボランティアで管理している場合が多い。マナーを守って入りましょう！



(熊の湯)

道の駅『知床・らうす』

日本で一番北方領土に近い道の駅。天気が良ければ、「北方領土・国後島」が眼前の前に広がります。観光案内所も併設されているのでエコツアー情報や見どころも聞いてみよう！（駅前にあるオリジナル自販機も忘れずチェック！）
(30ページも見てね！)



(道の駅『知床・らうす』)

羅臼ビジターセンター

知床の魅力や奥深く知るためには、ぜひビジターセンターを訪れて欲しい。地図上ではわかりづらいルートや、知床の自然の最新情報を確認できるので心強い。また、レクチャールームで上映されるハイビジョン映像「知床らうすの四季」もオススメ！自然講座なども行っているのに参加してみては？

羅臼町湯ノ沢町6-27 TEL(0153)87-2828

開館：9:00～17:00

(11月～4月10:00～16:00) 休館：月曜日



(羅臼ビジターセンター)